

4月28日~5月6日



▲表装の和紙を貼る作業を見学する伊美小学校児童(涛音寮)

芸術でにぎわう国見のゴールデンウィーク

好天に恵まれたゴールデンウィーク、国見町内では「第7回国見町工房・ギャラリーめぐり」が開催されました。今回は国見アートの会に所属する21ヶ所の工房やギャラリーが開設され、県内外から5000人を超える来場者がのんびりと芸術めぐりを楽しみました。

期間中は、フォークソング歌手の加川良さんのライブや芸術家の指導による体験教室が各所で開催され、子どもから大人までたくさんの方が芸術にふれました。

ひまわりの里めざし、上治郎丸で植え付け始まる

5月9日(木)、国東町上治郎丸地区でひまわりの種まきが行われました。地元住民らで結成した「上治郎丸ひまわりプロジェクト」(清原正義代表)が、「休耕田をひまわりの花で埋め尽くし観光客を集めよう」と昨年からの活動を開始。今回は約0.5ヘクタールの休耕田に種をまき、開花は7月後半の予定です。

なお、8月中旬には残りの休耕田約1.1ヘクタールに種をまく予定にしており、10月後半には治郎丸地区一帯が黄色に染まります。

5月9日



5月21日



夏の本番へ向け、子どもたちが毛槍練りの練習

安岐町下原の安岐川河口で毎年開催される川舟祭の「毛槍練り」を伝承するため、このほど安岐文化財愛護少年団が結成されました。

5月21日(火)の夜、毛槍の衣装を身につけた安岐小学校の児童15人が、川舟祭保存会(木付親次会長)から指導を受けました。子どもたちは8月6日(火)に開催される川舟祭本番に向けて、練習を重ねていくそうです。

うみがめ戻っておいで 海岸清掃に400人

5月23日(木)、国東町の黒津崎海岸一帯で清掃活動が行われました。ソニーセミコンダクタ(株)大分テクノロジーセンターの社員をはじめ、くにさき企業会、ライオンズクラブ、手と手と街づくり隊、うみがめプロジェクトの会員など約400人が1時間かけてゴミを拾いました。

国東の海岸には2年連続でうみがめが産卵に来ています。参加者は、「今年もうみがめが戻ってきて欲しい」と笑顔で話していました。

5月23日

